

蒲生岳道迷い(2021年7月)

YAMAPの地図はルートがあることになっているが、台風で道が荒れていて不鮮明。無理やり藪をこいで林道に脱出した。



解説

北壁ルートから小蒲生コースへの道がありません。台風で壊れて道が喪失しているのですが、YAMAPも地図もあることになっています。下山時の白糸清水行きかと思いきや、その先はありません。ロープ切れてました。うっかり沢に下ってしまったため、登り返しました。それならと北壁ルートに進むと、コチラも登山目印がなくなります。GPSで直線300mに農道があったので、やむを得ず藪こぎ。(本来は危険でやってはならない行為ですが、登り返しても山頂への道しかないためやむを得ず) 時間は既に14時近く。何度も下山道を探して登り降りしているため、軽く身体の痙攣と思考能力の低下を感じていました。下山時刻も大幅にオーバーしています。4リットルあった水は1リットル未満 疲れも蓄積していたため焦る焦る。そんな時に出来ることは、落ち着くこと!! 藪の中でコーヒーとご飯、15分仮眠し、覚悟決めて藪漕ぎ開始 道なき道を藪こぎすること1時間後、なんとか農道に辿り着くことが出来ました。(HP参照)

あるはずの登山道が無い。「あれっ?おかしい?」と思った時が「遭難と道迷いのターニングポイント」である。地図アプリを持っていたため冷静な判断がされたと思う。藪の中で食べ物を食べることは冷静さを保つことにもつながる。見習いたい事例の一つである。